

副校長より

あっという間に1月が過ぎていってしまいました。本校では、1月から平成30年度に向けた計画を立て始めています。平成30年度の重点項目の一つに、コミュニティ・スクールの制度の柱となる「学校支援地域本部」の活動のさらなる充実があります。昨年度から、学校地域支援コーディネーターを中心に活動していただいております。例えば、ボランティアの方々が制作してくださった四季折々の玄関掲示は、日本の四季のよさを感じさせてくれます。また、国際科ボランティアの方々には、ハロウィーンやクリスマス等の掲示をしていただき、日本とは異なる異文化が随所に表現されていました。これらの掲示を通して、児童が学校生活の中で、自国文化や異文化を自然に感じる事ができました。来年度以降は、次のような活動への取り組みも考えています。

○学習支援（週3回の15分間の帯の授業）○遠足の引率支援○カリッパ・パ・リッパの教育に関する掲示○学校・学年行事における支援

このような学校への支援活動を行っていただくことにより、本校児童を取り巻く温かい環境を作り上げることができます。また、本校の教員が授業や児童に向き合うことに集中して取り組めると考えています。

本校の新たな発展には、教職員の日々の研鑽とPTA・地域・学校支援地域本部の皆様方のご支援による総合力を高めることが不可欠と考えています。平成30年度も、本校にかかわる関係者の皆様の協働を軸に、将来社会で活躍できる芝小の児童を育成していきたいと願っております。御理解と御協力をお願い申し上げます。（副校長 菊原 寛之）

学びの部屋 ～3年生～ 「そろばん」 「郷土資料室」

3年生は1月17日、18日に樋口賢先生を御招きしてそろばんの学習を行いました。

見慣れない道具に子供たちは興味津々でした。そろばんの歴史や世界の様々な種類のそろばんを学んだら、そろばんを使った計算の開始です。人差し指と親指を使って嬉しそうに珠を上下に弾いていきます。言われた通りに珠を弾くと答えが出てくることに、子供たちはとても驚いていました。4年生でもう一度学習することが、今から楽しみです。

岩崎 実



芝小学校に「郷土資料室」という部屋があることを御存じですか。この部屋には、昔の暮らしの様子が分かるように古い道具やおもちゃが、まるで博物館のように展示されています。これは地域の皆様の御協力の下、私共の先輩教員が作り上げたものです。3年生の社会科では「古い道具とむかしの暮らし」の学習をしています。見学では「この道具はどうやって使うのだろう？」と課題をもったようです。こんなに身近にたくさんの資料がある芝小の子供たちはとても幸せです。

岩崎 実



学びの部屋 ～5年生～ 「自動車工場見学」 「人のたんじょう」

社会科「自動車をつくる工業」では、1月16日（火）に日産車体湘南工場に行きました。実際に自分の目で見たり体験したりすることで多くの学びを得ることができました。工場の中はオイルのような匂いがして、あちこちから機械が動く音や安全を知らせる音楽が聞こえてきます。ガラスの向こうではロボットが意志をもっているかのようにスムーズに動き、火花を飛び散らしています。細かい作業やチェック等は人が丁寧にやっています。感想には「人々の多くの工夫や努力を知ることができた」「日本の工業を誇りに感じる」等がありました。たくさんのことを感じ取り、子供たちは感動していました。

黒田 兼正



理科「人のたんじょう」では、人の受精卵は母の体内でどのように育つのかを調べて、班でまとめる活動を行っています。タブレットや本、動画や模型等を活用してとても意欲的に活動していました。自分が約0.1mmの受精卵から育ったことやへその緒を通して栄養だけでなく酸素等も送ってもらっていたこと、声を掛けたりお腹を触ったりすると反応してお腹を蹴ったり体を動かしたりすること等を知って、驚くとともに、自分が生まれてきたことに感謝する声も聞かれました。調べたことは班で模造紙にまとめ、発表会を行います。班の中で話し合い、役割分担を決めて計画的に進めています。どんな発表になるか、今から楽しみです。

黒田 兼正



今月のミニコンサート

- 3年2組 今田 日向 ピアノ独奏 「おどけた曲」
- 3年2組 柴山 美結 ピアノ独奏 「テルーの唄」
- 3年2組 鈴木 千咲登 高木アンナ 西野 心桜
リコーダー・鍵盤ハーモニカ・木琴 「ミッキーマウス マーチ」
- 5年1組 田中 敦士
- 5年2組 荒俣 沙耶 小林 香蓮 篠永 するぎ 高橋 瑠々花 藤本 悠花
前島 なつみ+ WITH B (菊池快翔、福田哲志、藤本優太)
木管・金管合奏「ダーティー ワーク」

